

キャリアパス要件Iのイメージ

参考例

職位	職責 (役割)	求められる能力	対応役割	職務内容	任用の要件		給与 年収
					習熟に必要な業務教育	必要経験年数	
経営職	経営幹部であり、 経営的責任を負う	<ul style="list-style-type: none"> 経営統括責任者として自組織の目標を設定し、計画立てて遂行 部下の自主性を尊重して自律的な組織運営環境を整える 人材育成、組織改革、法令遵守の徹底等を通じて地域の福祉向上に貢献 	施設長	<ul style="list-style-type: none"> 施設の経営資源把握と調整戦略の策定 施設計画の進捗管理、管理職育成 	施設長研修 法人経営研修	〇〇年以上	〇〇万円
管理職	部門の運営管理を行う	<ul style="list-style-type: none"> 業務執行責任者として状況を適切に判断し、部門の業務を円滑に執行 職員の育成と労務管理を通じて組織の強化を図る サービスの質の維持・向上に努める 教育研修のプログラムを策定・実施 	課長	<ul style="list-style-type: none"> 部門の管理育成 部下の育成 主任への指導 欠員時のサポート 	業務管理研修 部下指導育成研修 リスクマネジメント研修	〇〇年以上	〇〇万円
主任職	チームやユニットの 管理運営、部下指導	<ul style="list-style-type: none"> チームのリーダーとしてメンバーの指導、助言を実施 チームの目標を立て課題解決に取り組む 当該分野の高度かつ適切な技術を身に付け、部下の能力向上を図る 	介護主任	<ul style="list-style-type: none"> チームの管理調整 部下指導育成 リスクマネジメント、緊急対応 	リスクマネジメント研修 指導者養成研修	〇〇年以上	〇〇万円
一般職 (中堅)	通常の業務に加えて 難解な業務を実施	<ul style="list-style-type: none"> 組織の中で自分の役割を理解し、担当業務を遂行する 業務の遂行に必要な専門的知識・技術の向上を図る 	介護職員	<ul style="list-style-type: none"> 利用者への支援 保護者、関係機関との連絡調整 利用契約手続き 	介護福祉士取得のための研修 業務改善研修	〇〇年以上	〇〇万円
一般職 (初級)	介護の通常業務を行う	<ul style="list-style-type: none"> 指導、教育を受けつつ、担当業務を的確に行う 担当業務に必要な制度を理解する 	介護職員 (初級)	<ul style="list-style-type: none"> ケース記録の作成 入浴、排泄、食事等の介助 	初任者研修 介護職員基礎研修 訪問介護員2級研修	〇〇年以上	〇〇万円

※この表はあくまで指標であり、既に独自の人事制度を構築し、要件を満たしている法人については、このとおりに修正しなければならないものではありません。

キャリアパス要件Ⅱのイメージ

参考例

◆介護職員との意見交換を踏まえた資質向上のための目標

- (例1) 利用者のニーズに応じた良質なサービスを提供するために介護職員が技術・能力(例:介護技術、コミュニケーション能力、協調性、問題解決能力、マネジメント能力)の向上に努めること。
- (例2) 事業所全体で資格等(例:介護福祉士、介護職員基礎研修、訪問介護員研修等)の取得率向上。

◆目標実現のための具体的な取り組みの内容

- (ア) 資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、介護職員の能力評価を行う。

・資質向上のための計画例

研修テーマ	対象者	○月	○月	○月	○月	○月
ヒヤリハット事例への対応	全職員					
基本的な接客マナー	初任職員					
認知症の方への理解	中堅職員					
基本的な防災対策の理解	全職員					
感染症への理解	全職員					
介護保険でできること、できないこと	全職員					
法令遵守の理解	リーダー職員					
サービス計画の策定	リーダー職員					

・作成例

	内容	計画	目標
介護技術の向上	介護技術研修	全従業者を対象に必要な介護技術研修を年3回実施する(10月,12月,2月)	研修回数年3回以上、基礎的介護技術の習得
	マネジメント研修	管理者及びサービス提供責任者を対象にマネジメント研修を実施(1月)	1回開催。事業所の経営に当たり基礎的な人事労務管理を習得
	ケース検討会	ケース検討会を毎月実施	月1回開催、問題解決能力の向上
資格取得の向上	介護福祉士	介護職員基礎研修受講済者を対象に、3年以内に介護福祉士の取得を目指す。	3年後には、介護職員基礎研修受講済3名の介護福祉士の取得。平成23年度は1名合格
	介護職員基礎研修	訪問介護員2級受講者を対象に、3年以内に介護職員基礎研修の取得を目指す。	2年後には、訪問介護員2級受講者2名の研修受講を目指す。平成23年度は1名受講

・能力評価の実施例

- ※従業者ごとに、職責、経験年数等に照らして目標を立てて、その達成状況を確認するために定期的に上司との面談を行う。
- ※こうした機会を適切に設けているのであれば、必ずしも全ての介護職員に対して評価を行う必要はないが、介護職員が業務や能力に対する自己認識をし、その認識が事業者全体の方向性の中でどのように認められているかを認識しあうことが重要。

・介護職員の能力評価シート

評価項目・目標	職場での達成状況		本人の成果・反省点		評価者の所見		評価結果	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
仕事の成果								
仕事の意欲・態度								
遂行能力								
今年度の目標達成状況								

【管理者の所見】

(イ) 資格取得のための支援の実施

- (例1) 介護福祉士資格取得のための費用について、3万円を上限に補助する。
- (例2) 自己啓発のための研修受講予定日に配慮して勤務シフトを組む。